

事務事業名	白根中央公民館運営管理事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12523								
			所属課室	生涯学習課	課長名	新津 岳								
	☐ 実施計画事業		所属担当	生涯学習担当	担当者名	小野晃利								
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		22	生涯学習ネットワークの整備充実		01	一般	1	0	0	4	0	2	0	2
政策		35	生涯学習システムの推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度)			法令根拠										
	☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度)													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 白根中央公民館運営経費(貸館業務) H22・10 公民館運営管理事業から分離 多くの市民に講座、講演会、研修会などの社会教育学習拠点として、環境整備を行い使いやすい施設として会議室を利用してもらう。			事業費の主な内訳 (22年度)										
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)							
								計 0						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	
23年度活動予定	生涯学習課所管白根中央公民館管理
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
公民館長・主事が主体となって白根地区において生涯学習等に関する講座等を実施し市民の文化教養の向上を図る	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
芸術文化及び生活文化の更なる向上が図られ、地域再見・文化のまちづくり・地域文化の振興が図られる	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 公民館事業開催回数	回数
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 人口	人数
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 参加者	人数
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア 南アルプス市民が文化にあふれる町と感じる市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			832	772	832	832	
	事業費計 (A)		千円	0	0	832	772	832	832	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間		20	20	20	20	20	20	
		人件費計 (B)	千円	0	89	79	79	79	79	0	
		(A)+(B)		千円	0	89	911	851	911	911	0
活動指標		回数		3.0	5.0	7.0	7.0	7.0			
		人数		1,000.0	1,500.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0			
対象指標		人数		17,000.0	17,000.0	17,000.0	17,000.0	17,000.0			
成果指標		人数		150.0	300.0	400.0	400.0	400.0			
上位成果指標		%		60.0	70.0	80.0	80.0	80.0			

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	白根は一とふるセンターを農協に返却により代替施設として22年度から商工会から借り入れ講座や講演会を開催する。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成22年度から借用のため、比較できない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	利用する市民からは、適当な広さの会議室があるため、利用しやすいとの意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	今年度からの管理運営のため、現段階ではまだ試行的な段階である。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	白根は一とふるセンターを農協に返却。

事務事業名	白根中央公民館運営管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市民に使用しやすい社会教育施設として利用されている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 他地域と同様に公民館を設置したことにより、地区民に広く利用されることにより公平性が保たれる。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 地元地区民に多く利用される。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 現段階では、試行的な部分もあるので改善する部分があれば検討する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 利用頻度が低い場合は白根地区他施設との統合を図り、この施設の廃止を検討する。 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 社会教育拠点縮小により機会の学習機会の減少 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 今後の利用状況により検討
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の経費で運営しているため、現状では厳しい。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の経費で運営しているため、現状では厳しい。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 他地域と同様に公民館を設置したことにより、地区民に広く利用されることにより公平性が保たれる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	また類似事業の「白根コミュニティー館運営管理事業(12367)」はH21年度まで利用していた「はーとふるセンター」閉鎖の影響を考慮し、この建物との併用運用をしたところである。利用状況を検討し、統一しても問題がなければどちらかに事業統一も検討する。ただし利用実績値が1年しかないためもう少しサンプル年数が必要と思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
① 白根コミュニティーセンターとの利用実態の厳格な調査 ② ③		<table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>⑫</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑥</td></tr></table>		成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																							
コスト削減優先度評価結果	⑥																							
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① ② ③																								